

平成27年度第3回筑西市総合教育会議会議録

| | |
|--------------|--|
| 1. 招集日時 | 平成28年3月17日（木） 午後4時00分（開会午後4時00分～閉会午後4時20分） |
| 2. 場 所 | 筑西市下中山732番地1 筑西市役所本庁舎4階 全員協議会室 |
| 3. 出席構成員 | 須藤茂市長、吉澤貴美子教育委員長、塚本真実教育委員、鶴見毅教育委員、斎藤裕光教育委員、赤荻利夫教育長 |
| 4. 欠席構成員 | なし |
| 5. 構成員以外の出席者 | 【市長部局】市長公室長：稻見猛、総務部長：宮窪英治、企画部長：坂入龍一 【教育委員会】教育部長：滝田誠、次長：柴武司、次長：稻川尚之、次長兼学務課長：臼井修三、指導課長：杉山昭子、学務課学校総務グループ課長補佐：渡邊久人、学務課学校総務グループ係長：岡本崇生 |
| 6. 傍聴者 | 0名 |
| 7. 会議に付した案件 | （1）「筑西市小中一貫教育の在り方について」 |
| 8. 議事の大用 | 1. 開会 2. あいさつ 須藤市長：本年4月1日より、すべての地方公共団体に『総合教育会議』が設置されることになりました。本市では今回が3回目の開催になります。平成27年10月29日に開催いたしました第2回会議では「筑西市教育大綱」につきまして、みなさまより、慎重、活発なご意見を頂戴し、策定されたところでございます。 その「教育大綱」の基本方針にございます【学校の適正規模・適正配置の検討、小中一貫教育の推進】につきまして、教育委員会は「学校の在り方検討委員会」に諮問をし、去る2月29日に【小中一貫教 |

育の在り方】につきまして、答申を受けたところでございます。

本日は「小中一貫教育の在り方」につきまして、協議調整いたしますので、みなさまのご忌憚のないご意見を賜りたいと存じております。みなさまとより一層連携を深めまして、教育の充実に向かっていきたいと考えておりますので、慎重かつ活発なご審議をお願いいたします。

吉澤委員長：今日はとっても気持ちのいい春風が吹いていて、うれしい気持ちになっています。筑西市にも小中一貫教育という風が吹いて、何か大きなうねりを感じているところですが、これが子供たちにとって暖かい風であり、夢を実現するための大きなうねりとなつていければいいと考えております。小中一貫教育につきまして、活発なご意見をどうぞよろしくお願ひいたします。

3. 議事録署名人の指名

筑西市総合教育会議運営要綱第7条第2項の規定により、鶴見毅教育委員を指名。

4. 協議事項

筑西市総合教育会議運営要綱第4条第5項の規定により、会議進行を須藤市長に交代。

須藤市長：それではここから、会議の進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の協議事項『筑西市小中一貫教育の在り方について』でございますが、昨年策定いたしました市の基本方針の中で、モデル校を選定して、小中一貫教育の成果や課題を検証するとしていることから、市といたしましても平成28年度にはモデル校を決定して、積極的に小中一貫教育を推進してまいりました

いと考えているところであります。

つきましては、はじめに教育委員のみなさまのご意見を伺いたいと存じますので、よろしくお願ひいたします。

赤荻教育長：教育委員会では、学校の在り方検討委員会からの答申や学校教育懇談会でのご意見などを踏まえ、平成28年度には明野中学校区を小中一貫教育のモデル校として選定し、効果や課題を検証しながら全中学校区に導入していきたいと考えております。

須藤市長：平成28年度に明野中学校区を小中一貫教育のモデル校とするということですが、その理由や経緯をお聞かせ願いたいと思います。

赤荻教育長：学校教育懇談会でいただきましたご意見や学校の在り方検討委員会での審議内容等につきましては事務局より説明をお願いたします。

学務課長：市は学校の小規模化やいじめ・不登校等の教育課題に早急に対応し、子供たちのより良い教育環境の整備、好ましい人間関係の構築を目指して、「筑西市小中一貫教育及び学校の適正規模・適正配置の基本方針」を平成27年7月に策定いたしました。更に教育委員会は、「学校の在り方検討委員会」に対しまして、この基本方針に基づいた小中一貫教育及び学校の適正配置に関わる調査審議をお願いし、今後の望ましい学校の在り方について、ご意見をいただくため、①本市の小中一貫教育の在り方について、②本市の学校の適正配置の在り方について質問をしたところでございます。

まず、本市の小中一貫教育の在り方につきまして、今後の取組、モデル校の選定についてお願ひいたしました。

検討委員会は平成27年10月28日に第1回委員会を開催いたしまして、以後平成28年2月29日まで、計5回の委員会を開催し、慎重にご審議をいただきました。先般開催されました第5回の委員会におきまして、「平成28年度に導入する小中一貫教育のモデル校は明野中学校区とする」との答申をいただいたところでございます。また、答申では「今後の小中一貫教育のモデル校については、学校側と保護者側で意思統一され条件が整い次第導入していくよう、隨時選定することとする」との意見もいただきました。

選定理由についてでございますが、7中学校区の中で明野中学校区においては、小中一貫教育のモデル校に対しての関心度が特に強く、小小・小中連携も充実しており、「明野中学校区を小中一貫教育のモデル校としてほしい」という委員からの強い要望があることから、学校側と保護者側の意思統一が強く感じられるためとしております。

答申をいただきましたモデル校の選定につきまして、先ほど開催いたしました教育委員会定例会において報告したところでございます。また、今年の1月14日から2月4日までの間、合計7回、7中学校区におきまして学校教育懇談会を開催いたしまして、①小中一貫教育について、②学校の適正配置について説明をし、参加されたみなさまより貴重なご意見をいただき、その関心度の高さが見受けられました。これらの意見につきましては、小中一貫教育を行ううえで、より効果的な形態である義務教育学校（施設一体型）の設置を目指すにあたって、充分にとりいれていき、更なる検討をしていきたいと考えております。

須藤市長：教育委員会としてのご意見、事務局のご説明をいただきました。ありがとうございます。このほか、委員のみなさまから、ございますでしょうか。

須藤市長：よろしいでしょうか。それでは市といたしましても、子どもたちの教育環境の充実、あるいは向上を図るため、小中一貫教育を積極的に推進していくためにも、まずはモデル校での検証が必要であると考えております。そこで、平成28年度に明野中学校区をモデル校としていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。ただ今のご説明の中にもございましたが、ここで一番大事なことは地域の方々とのコミュニケーションだと思います。これまでも充分にしているものとは思いますが、これからも更にコミュニケーションを深めていただき、成功させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

それでは協議事項は以上でございますので、ここで会議進行を事務局にお願いいたします。

5. その他 なし

6. 閉会

以上 閉会午後 4時20分